

# 東日本大震災における被災状況・営業状況調査結果報告書

(沿岸地区生活衛生同業組合員対象)

平成 26 年 11 月末現在実施

## 目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の概要	1
II	調査結果	2
1	被災組合員の現時点（平成 26 年 11 月 30 日現在）の営業状況	2
2	被災組合員及び組合別・地域別の営業状況等	2~5
3	現在の要望・課題等	6~13
	参考資料（調査票・調査依頼先資料）	

平成 27 年 2 月

公益財団法人岩手県生活衛生営業指導センター

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生から、まもなく 4 年を迎えますが、この未曾有の大災害は、被災地域の住民生活及び被災組合員の営業状況に大きな影響を及ぼしている。

この調査は、沿岸地区生活衛生同業組合員の 3 年 8 ヶ月を経過しようとする現在の営業状況を明らかにし、復旧・復興状況の実態把握を行い、どのような要望、課題等があり、その声を今後の支援策検討の参考とすることを目的とする。

### 2 調査の概要

#### (1) 調査の実施者

公益財団法人岩手県生活衛生営業指導センター（以下「岩手県指導センター」という。）

#### (2) 調査の実施時期

この調査は、平成 26 年 11 月 30 日現在で、調査を実施した。

#### (3) 調査の対象

各生活衛生同業組合の沿岸地区支部及び本部所属沿岸地区組合員

#### (4) 調査の方法

この調査は、岩手県指導センターから各生活衛生同業組合を通じ、調査対象に調査票を配布し、記入する方法により実施した。

#### (5) 調査の内容

調査対象である生活衛生同業組合に所属する組合員について、支部ごとに以下の調査項目について調査した。（調査票：参考資料）

- ① 被災組合員の現時点の営業状況について
- ② 現在の声・要望・課題等について

#### (6) 調査の結果利用上の注意事項

- ① この調査は、生活衛生同業組合の各支部を対象に、生活衛生同業組合が把握している平成 26 年 11 月 30 日現在の沿岸地区組合員の状況を調査したものである。
- ② したがって、生活衛生同業組合員の被災した全ての組合員を調査対象としたものではないことに注意を要する。
- ③ また、この調査は生活衛生同業組合が把握している範囲内での状況を調査したものであり、地域の状況及び組合の状況により、把握できないものは「不明」とした。

### 参考：これまでの調査の経過

第一回調査（平成 24 年 2 月）・・・全国指導センターからの委託調査

対象地区：岩手県全域

第二回調査（平成 24 年 12 月）・・・岩手県からの委託調査

対象地区：沿岸地域

第三回調査（平成 25 年 11 月）・・・岩手県からの委託調査

対象地区：沿岸地域

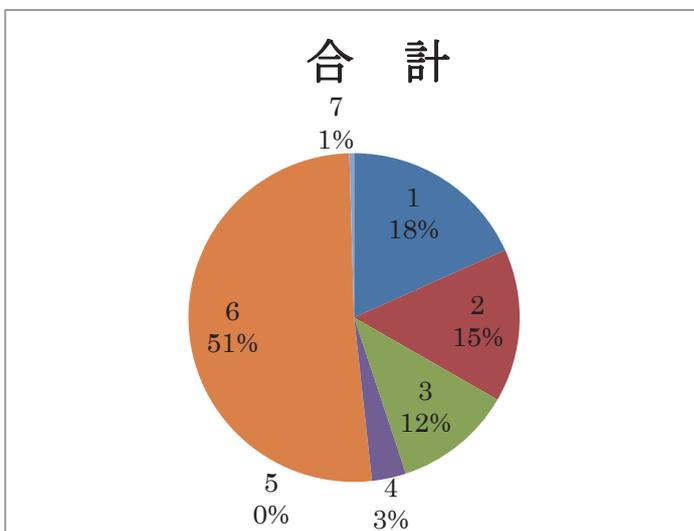
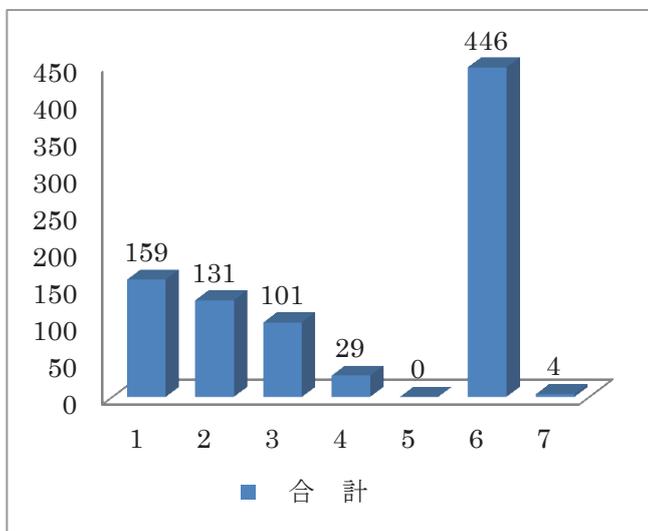
第四回調査（平成 26 年 11 月）・・・復興支援事業（全国指導センターからの委託）

対象地区：沿岸地域

## II 調査結果（沿岸地区生活衛生同業組合員対象）

### 1 被災組合員の現時点（平成 26 年 11 月 30 日現在）の営業状況

	1 現地で再開 （店舗が元々 あった場所）	2 仮設店舗で再 開（中小企業基 盤整備機構等）	3 その他の場 所で再開（別 の場所）	4 休業中 （営業再開 意思あり）	5 廃業	6 被災後 速やかに 営業継続	7 不明	調査対象 組合員数
すし業	8	1	1	0	0	4	0	14
中華料理	24	12	12	2	0	9	0	59
社交飲食業	0	16	0	0	0	0	0	16
料理業	0	0	4	0	0	0	0	4
飲食業	23	48	41	4	0	40	4	160
食肉	4	2	3	1	0	12	0	22
理容	36	18	20	7	0	165	0	246
美容業	36	31	15	5	0	160	0	247
興行	0	0	0	0	0	1	0	1
旅館ホテル	26	0	5	9	0	43	0	83
公衆浴場業	0	0	0	1	0	0	0	1
クリーニング	2	3	0	0	0	12	0	17
<b>合計</b>	<b>159</b>	<b>131</b>	<b>101</b>	<b>29</b>	<b>0</b>	<b>446</b>	<b>4</b>	<b>870</b>
割合	18.3%	15.1%	11.6%	3.3%	0.0%	51.3%	0.5%	100.0%



### 2 被災組合員及び組合別・地域別の営業状況（平成 26 年 11 月 30 日現在）

#### (1) 被災組合員の営業状況

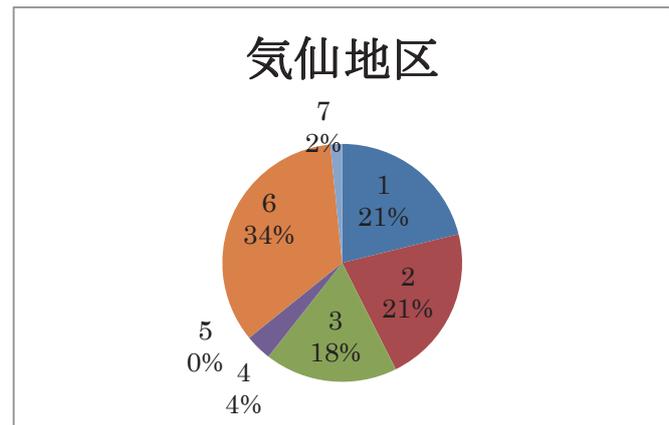
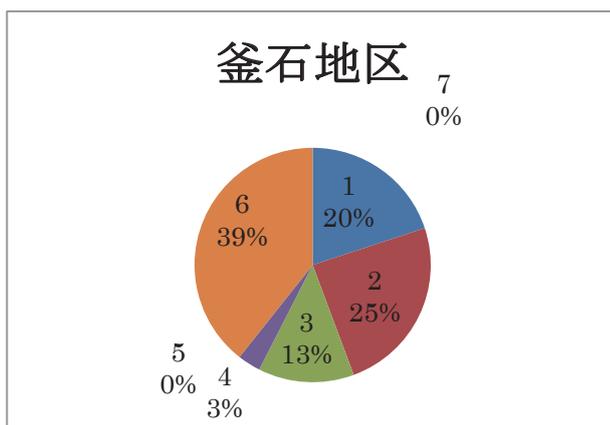
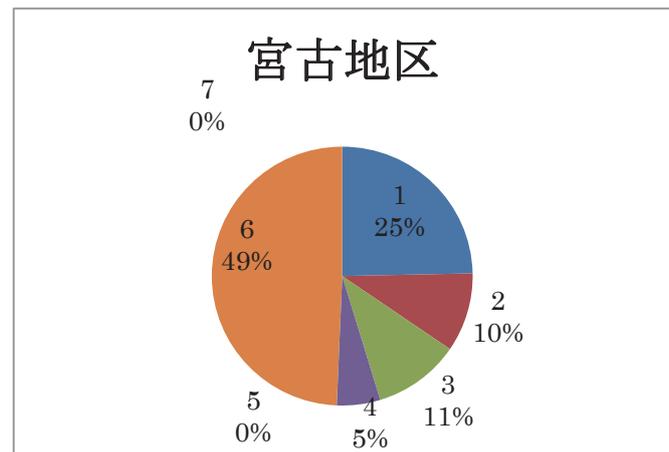
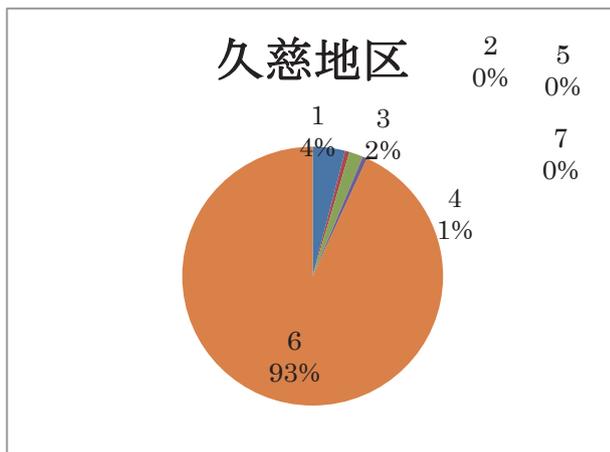
被災組合員の平成 26 年 11 月末現在の営業状況は、「現地で再開」が 159 人（全体の 18.3%）、**「仮設店舗で再開」が 131 人（全体の 15.1%）**、「**その他の場所で再開」が 101 人（全体の 11.6%）**、「**休業中（再開の意思あり）」が 29 人（全体の 3.3%）**、「廃業」が 0 人（全体の 0%）、「営業継続」が 446 人（全体の 51.3%）、「不明」が 4 人（全体の 0.5%）。**未だに 30%が本設再開できない厳しい現実**となっている。

## (2) 組合別の営業状況

組合別の営業状況は、『現地での営業再開・仮設店舗・その他の場所で再開・被災後速やかに営業再開』については、「すし業組合」100%、「中華料理組合」96.6%、「社交飲食業組合」100%、「料理業組合」100%、「飲食業組合」97.5%、「食肉組合」95.5%、「理容組合」97.2%、「美容業組合」98.0%、「興行組合」100.0%、「旅館ホテル組合」89.2%、「公衆浴場業組合」0%、「クリーニング組合」100%で、**全体の営業再開は96.7%**である。しかし、未だに**休業中（再開意思あり）が29人（3.3%）あり、被災地の厳しい現実**が浮き彫りとなってきている状況が見えてくる。

## (3) 地域別の営業状況

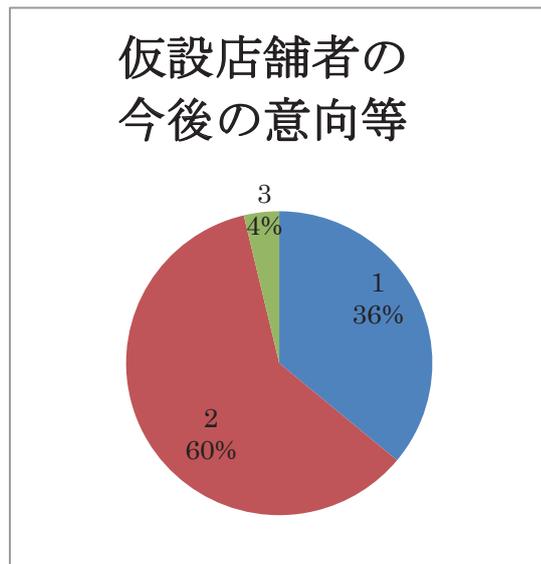
	1 現地で再開	2 仮設店舗で再開	3 その他の場所で再開	4 休業中(再開意思あり)	5 廃業	6 営業継続	7 不明	組合員数
久慈地区	7	1	3	1	0	163	0	175
宮古地区	55	22	24	12	0	110	0	223
釜石地区	44	54	29	7	0	87	0	221
気仙地区	53	54	45	9	0	86	4	251
<b>合計</b>	<b>159</b>	<b>131</b>	<b>101</b>	<b>29</b>	<b>0</b>	<b>446</b>	<b>4</b>	<b>870</b>



- 「久慈地区」は、99%が営業再開も、**仮設店舗1人、別の場所3人、休業中1人**（旅館ホテル）。
- 「宮古地区」は、95%が営業再開も、**仮設店舗22人、別の場所24人、休業中12人**（中華1、理容3、美容2、旅館ホテル5、公衆浴場1）。
- 「釜石地区」は、97%が営業再開も、**仮設店舗54人、別の場所29人、休業中7人**（飲食3、理容4）。
- 「気仙地区」は、95%が営業再開も、**仮設再開54人、別の場所45人、休業中9人**（中華1、飲食1、食肉1、美容3、旅館ホテル3）、**不明4人**。

(4) 「仮設店舗者」の今後の意向等(複数回答可)

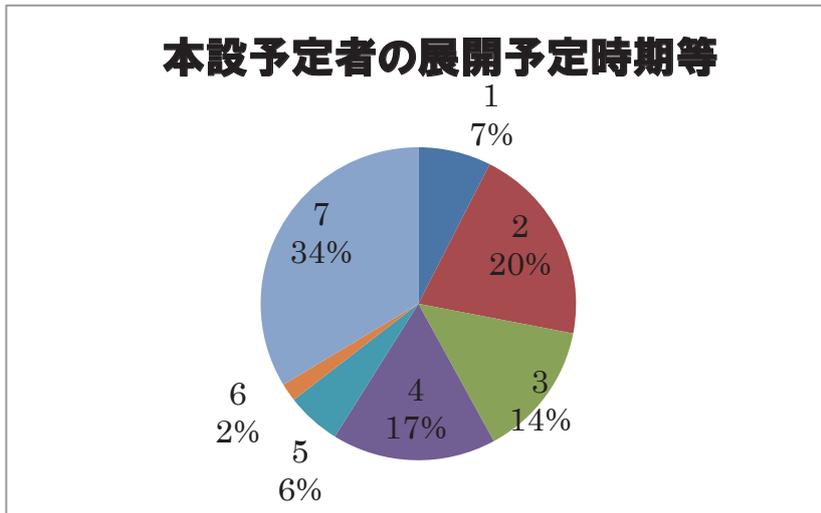
	1 わからない	2 本設予定	3 仮設撤去時 廃業検討	合 計
すし業	1	0	0	1
中華料理	5	6	1	12
社交飲食業	15	1	0	16
料理業	0	0	0	0
飲食業	26	21	2	49
食肉	0	4	0	4
理容	4	40	1	45
美容業	5	24	2	31
興行	0	0	0	0
旅館ホテル	0	0	0	0
公衆浴場業	0	0	0	0
クリーニング	2	1	0	3
<b>合 計</b>	<b>58</b>	<b>97</b>	<b>6</b>	<b>161</b>
割 合	36.0%	60.2%	3.8%	100.0%



○現在、「仮設店舗」で営業している方の**60.2%が「本設予定」と回答**。ただし、「わからない」が36.0%、「仮設店舗撤去時に廃業検討」は、3.8%となっている。

(5) 「本設予定者」の展開予定時期等(複数回答可)

	1 平成 26 年度	2 平成 27 年度	3 平成 28 年度	4 平成 29 年度	5 平成 30 年度	6 平成 31 年度	7 時期未定	合 計
すし業	0	0	0	0	0	0	0	0
中華料理	0	3	0	0	0	0	3	6
社交飲食業	0	0	0	0	0	0	1	1
料理業	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食業	2	1	4	7	2	0	5	21
食肉	0	1	0	0	3	0	0	4
理容	5	10	4	7	0	0	14	40
美容業	1	6	7	4	1	0	12	31
興行	0	0	0	0	0	1	0	1
旅館ホテル	0	0	0	0	0	0	0	0
公衆浴場業	0	1	0	0	0	1	0	2
クリーニング	0	0	0	0	0	0	1	1
<b>合 計</b>	<b>8</b>	<b>22</b>	<b>15</b>	<b>18</b>	<b>6</b>	<b>2</b>	<b>36</b>	<b>107</b>
割 合	7.5%	20.6%	14.0%	16.8%	5.6%	1.9%	33.6%	100.0%



○「本設予定者」のうち、**今後、5年で本設再開が58.9%。「時期未定」は33.6%**となっている。

※**今後、本設再開に向けた、きめ細やかな対応が必要となる仮設店舗等分布一覧**

	市町村名	仮設店舗	別の場所での営業	休業中	計
1	久慈市		2 美容 2	1 旅館 1	3
2	野田村	1 理容 1	1 美容 1		2
3	田野畑村			1 旅館 1	1
4	岩泉町			2 美容 1、旅館 1	2
5	宮古市	4 食肉 1、理容 1、美容 2	5 中華 1、理容 1、美容 2、旅館 1	8 理容 3、美容 1、旅館 3、浴場 1	17
6	山田町	18 中華 1、飲食 3、理容 5 美容 9	19 すし 1、中華 2、飲食 8 理容 7、美容 1	1 中華 1	38
7	大槌町	8 理容 3、美容 5	5 料理 1、理容 2、美容 2		13
8	釜石市	46 中華 11、社交 16、飲食 7 食肉 1、理容 4、美容 7	24 中華 8、飲食 7、食肉 1 理容 2、美容 6	7 飲食 3、理容 4	77
9	大船渡市	33 すし 1、飲食 26、美容 5 クリ 1	27 中華 1、料理 3、飲食 16、食肉 1 理容 3、美容 1、旅館 2	7 中華 1、飲食 1、食肉 1、美容 1 旅館 3	67
10	陸前高田市	21 飲食 12、理容 4、美容 3 クリ 2	18 飲食 10、食肉 1、理容 4 美容 1、旅館 2	2 美容 2	41
	計	131	101	29	261

### 3 被災生衛業組合員の要望・課題等（抜粋版）

#### (1) 経営環境に関するもの

- ① 復興計画の遅れによる 本設時期の遅延、建設費の高騰等、本設を希望する事業者に大きな障害。
- ② 仮設店舗では、スペースが狭く売上が伸びない。
- ③ 市街地での災害復興住宅の建設が遅れており、仮設入居者が山手などに離れていることから、飲食後の運転代行の確保等による顧客の経費増により、来店頻度が減少し売上が伸びない。
- ④ 仮設店舗では、営業時間の制限、スペースが狭く売上が伸びない。
- ⑤ 仮設店舗営業の長期化で、本設店舗出店前に経営が行き詰まってしまう。
- ⑥ 元々借用店舗での営業者は、グループ補助金の対象にならず本設に向け 資金不足で経営が厳しい。
- ⑦ 従業員の確保困難、販路先の開拓に苦慮。

#### (2) 情報提供等に関するもの

- ① 行政に相談に行くと、あっちの課、こっちの課へとタライ廻しにされる。
- ② 行政へ相談ができない中で、今後については、どのようにしていいのか考えが定まらない。
- ③ 本設店舗建設の際は、補助金や他市町村の共同店舗等の情報、金融面での有利な情報が欲しい。
- ④ 復興支援事業の継続、商工会等との情報格差が出ないように、タイムリーな情報提供をお願いする。
- ⑤ グループ補助金申請にあたって相手方を探して欲しい。

#### (3) インフラ等に関するもの

- ① 町の復興が遅れているので、あと何年かかるのかわからない。復興の遅れに苛立つ。
- ② 旧市街地全体が嵩上げ工事中。完成にはまだまだ長い期間を要す。今後の本設については、商業地区、居住地区の 具体的説明がなく不安。
- ③ 中小機構の仮設店舗商店街が、嵩上げ工事のため別の場所に移ることになり、移転にかかる費用や労力等が負担。
- ④ 嵩上げ工事～インフラ整備～本設店舗再建まで、まだまだ長い道のり。

#### (4) 人口流出等に関するもの

- ① 沿岸部の人口流出は他地域に比べて大きく、顧客減少が著しい。
- ② 観光客誘致や生衛業の連携事業に取り組んで欲しい。
- ③ 応急仮設住宅及びみなし仮設住宅の生活者は、岩手県内で約 29 千人いる（平成 26 年 12 月末現在）。

#### ○ まとめ

- ・震災から 4 年を経過するも、被災生衛業者の経営状況等は、顧客減少等により一部工事関係等を除き一層の厳しさが伺われる。
- ・被災生衛業者の要望・課題は、「資金」「情報提供」「インフラ」「人口流出」等、広範囲にわたっている。
- ・本調査では、本設予定者の約 6 割が今後 5 年間に本設したい意向である実態がわかった。
- ・したがって、今後 5 年程度は、仮設店舗者や休業者等の本設再開に向けて、専門的かつ的確な経営改善を行う等、関係機関との連携による支援体制を充実し、被災生衛業者の経営再生等、集中した支援が必要である。

## 【 組合別：現在の要望・課題等 】

### 1 すし業生活衛生同業組合

#### ① 宮古・山田・大船渡地区組合員（支部なし）

- ・行政に相談に行くと、あっちの課、こっちの課へとタライ廻しにされる。
- ・行政へ相談ができない中で、今後については、どのようにしていいのか考えが定まらない。

### 2 中華料理生活衛生同業組合

#### ① 宮古支部

- ・従業員の確保が困難（ハローワークに、給料を上げて募集しても応募者が無い）。

#### ② 山田支部

- ・町のコンパクトシティ構想では、平成 27 年秋から建築可能となっているが、復興計画の遅れによる本設時期の遅延、建設費の高騰等、本設を希望する事業者に大きな障害となっている。
- ・復旧・復興のための嵩上げ工事が開始されたが、これに伴い現在の仮設店舗から、一旦、次の仮設店舗への移転が行われるなどしている。仮設店舗での営業では、震災前の売り上げに戻りきれないことから、一日も早い嵩上げ工事の完了に期待する。
- ・被災による人口減少、商業の縮小と停滞により町全体の経済体力が低下している。町民の増加、人口維持に行政の手腕を期待する。

#### ③ 釜石支部

- ・嵩上げ工事の完了時期が不明で、本設までの資金面が不安・課題。
- ・空いている土地が少なく、また土地が高騰し建設費の高騰による資金確保が、とても不安。
- ・仮設店舗での収入確保には限界があり、いつまで営業できるか不安。

#### ④ 大船渡支部

- ・震災を機に、組合脱会が加速。

### 3 社交飲食業生活衛生同業組合

#### ① 釜石支部

- ・震災前と比較して、客席数が減ったため売上が減少。
- ・市街地での災害復興住宅の建設が遅れており、仮設入居者が山手などに離れていることから、飲食後の運転代行の確保等による顧客の経費増により、来店頻度が減少し売上が伸びない。
- ・仮設店舗では、深夜営業の許可が取れず 24 時までの営業制限があり、売上が伸びない。
- ・震災の風化により、被災地ツアーなどが減少し売上低下。観光客誘致や生衛業の連携事業に取り組んで欲しい。
- ・若年層の流出による顧客減少、売上減少。

### 4 料理業生活衛生同業組合

#### ① 大船渡・大槌支部

- ・平成 26 年から営業できると聞いていたが、区画整理がどんどん変更になり、再建計画も変更になり次ぐ変更となった。別に土地を見つけて借りたが、嵩上げ工事～インフラ整備～再建で、順調でも平成 28 年の営業再開となり、まだまだ長い道のりだ。
- ・店舗兼住宅を再建した場所が嵩上げ工事を行うため、移転を余儀なくされている。しかも退去の時期が早まり、平成 27 年夏には退去しなければならない。既にグループ補助金の決定を受けてはいるものの、即本設ができないことから、不便な場所で仮設営業を行うか、営業休止するか（休業補償を受けても、その後の顧客減少等が不安）悩んでいる。嵩上げ工事～インフラ整備～再建まで、まだ長い期間がかかる。年齢もあり営業継続に不安。

- ・震災の翌年に、店舗兼住宅を再建し営業再開したが、客数・客単価が伸びず経営が不安。
- ・震災の翌年に、高台に新店舗を再建したが、客数が伸びない。道路などの整備が待たれる。

## 5 飲食業生活衛生同業組合

### ① 久慈支部

- ・全ての組合員が営業している。

### ② 宮古支部

- ・資金繰り等で苦心。復興に時間がかかり過ぎ不安。

### ③ 山田支部

- ・町の復興が遅れているので、あと何年かかるのかわからない。復興の遅れに苛立つ。
- ・嵩上げ工事が平成 27 年 3 月から開始されるが、本設を目指すにも、建設費（材料費）の暴騰、震災前の価格の倍以上。後継者問題、高齢でいつまでかなと思うと苛立ちの毎日。
- ・本設再開に向け、復興支援事業の継続、商工会等との情報格差が出ないよう、タイムリーな情報提供をお願いします。

### ④ 釜石支部

- ・平成 27 年 5 月営業を目指していたが、資材高騰で工事契約が遅れ、その間の自己資金が不安。グループ補助金の迅速な拠出をお願いします。（概算請求の手続き等）
- ・今まで足を運んでくださったお客さんが遠い仮設などに入り、「足が無い」「タクシー代・代行代が高い」などの理由で、客が激減。週 2～3 回でもシャトルバスを出して欲しい。
- ・仮設店舗で営業の方も、町の中心街へ移転の動きが出てきている。今までは家賃免除や、設備支援等で商売がスムーズだったが、移転では様々な問題があり悩んでいる。
  - ① 年齢（高齢化）②資金（移転資金・家賃運営資金等）③行政との様々な手続き
- ・復興に携わる方が釜石から居なくなり客数が半減。この先が不安。消費増税も心配。
- ・観光地としての環境が破壊された中、新しい魅力創りに色々挑戦しているが、利益を生み出すまでにはいかない。観光客誘致や生衛業の連携事業に取り組んで欲しい。
- ・復興に時間がかかり過ぎ、経営計画にズレが生じる今、資金繰りが一番厳しい。
- ・現存の銀行ローンの返済に苦慮（現在休業中）

### ⑤ 大船渡支部

- ・何時かは、他県から来ている人達は帰ってしまう。その時今のまま営業を続けているか不安。
- ・仮設営業で 3 年が経過。仮設店舗の改装費に 300 万円を銀行より借入し、大船渡市から利息補助を受けている。今後、本設しても人口減少が心配。又、他県からの応援職員や建設復興事業者の終了後の来客減少等も不安要素。
- ・平成 26 年 6 月末で市との契約が切れ、同じ場所に 12 月中旬に本設店舗を開店。年齢による体力的な不安、本設にかかった不足資金の調達など心配が絶えない。
- ・本設予定地の嵩上げ終了時期よりも、仮設店舗の立退きが 1 年半位早まりそうなのが心配。そのため、1 年半程度、休業を余儀なくされるので、従業員へ支払う給与を確保できるか不安。

### ⑥ 盛支部

- ・精神的疲労が継続しており、休業する機会が多くなってきた。
- ・従業員の確保が課題。人手が無く求人を出しても全く集まらない。「もっと従業員がいたら」と思う時がよくあり、顧客の要望にお応えできない。

### ⑦ 陸前高田支部

- ・運転資金が足りなく、営業再開に不安。

- ・ホテル周辺が開発途上であり、アクセスが不便。
- ・周辺の観光素材がまだ少ないので集客に困っている。
- ・津波で流された店舗で祖父の代から 50 年営業してきたが、建物が借家だったので、本設の際、グループ補助金が建物に対して適用されない。自宅再建と重なるので、想定以上に多額の資金が必要となり、なりわいとなる店舗の再建が難しい。
- ・新市街地での本設の件数が、組合員の高齢化で、決断を鈍らせている。
- ・仮設店舗には期限がある為、新店舗を確保しなければ休業を余儀なくされる。
- ・希望より常に不安が大きい毎日を送っている。今後の予測が未だに見当がつかない。
- ・店舗と住宅の再建等、これから 5 年で一気に到来。資金がいくら必要か、考えただけでもキツイ。残りの人生、借金を返すだけの人生になりそうです。
- ・高台・換地場所で住宅兼店舗にしたいが、グループ補助金に代わる支援策を教えて欲しい。
- ・街の復興の進み具合にもよるが、仮設店舗が有料でも延長してもらえると、廃業を検討している人も営業継続に向けて、前向きに考えられる。

#### ⑧ 陸前高田支部

- ・内陸部で店舗を構えて営業再開したが、情報が少ない。
- ・従業員の確保が困難。復興会議等、役員をしておりその度に休業せざるを得ない。
- ・仮設店舗での期限切れ後が不安。資金の目処等、経営の見通しが立たない。
- ・市の復興計画が見えてこないのが不安。
- ・現在、中小機構の仮設店舗で、商店会（7 者）で運営しているが、市の復興と共に本設再開に向け脱会していく会員が想定される。残された会員で、現在の地代、設備の維持の負担が担えるのか不安。また、市の方向性は、現在の仮設店舗を有償譲渡の考えで、資金繰り等が心配。

### 6 食肉生活衛生同業組合

#### ① 宮古支部

- ・田老の旧商業地区は全員高台移転しなければならない。建設着工は未だ先のことで、建設費用の工面が大変。

#### ② 釜石支部

- ・商業地区の土地整備完成が平成 28 年頃。店舗完成が平成 30 年頃になる見込み。店舗建設費が高騰しており、資金の工面が大変。また、店舗運営の借料が多く、生活が苦しい。
- ・元の場所に本設予定だが、地盤沈下分を嵩上げする必要があり費用増による、資金調達が不安。
- ・市内の商業地区は廃業店舗が多いし、人口流出が著しく、本設後の集客や経営が心配。

#### ③ 気仙支部

- ・陸前高田市は、旧市街地全体が嵩上げ工事中。完成にはまだまだ長い期間を要す。今後の本設については、商業地区、居住地区の具体的説明がなく不安。

### 7 理容生活衛生同業組合

#### ① 久慈支部

- ・区画整理の遅れ。(野田村)、グループ補助金申請にあたっての相手探しが困難。

#### ② 宮古支部

- ・本設店舗再開にあたりグループ補助金を活用する予定、4 分の 3 は補助となるが残り 4 分の 1 の自己資金の捻出が心配。
- ・移転先（高台整地）の土地の抽選により希望の場所に移れるとは限らない。その時は盛土（嵩上げ）の土地に移ることも検討中。(田老)

- ・仮換地で決まった土地に本設予定（住宅兼店舗）。コンクリートなど資材高騰や作業員の人材不足等により坪単価も上昇、工期の延長が予想され、当初見積り通り完成しそうにない。（鍬ヶ崎）

### ③ 山田支部

- ・平成 26 年度に入り町の復興拠点地域（中心商店街）の本格的嵩上げ工事が開始され、平成 27 年度までには一部土地利用ができるようになるが、その場所を希望している組合員は無い。他の土地については利用できるまで 2～3 年を要する。したがって本設店舗の建設場所を特定した人と見通しがついていない人に分かれる。
- ・中小機構の仮設店舗商店街が、嵩上げ工事のため別の場所に移ることになり、移転にかかる費用や労力等が負担となっている。
- ・補助金が数年先にも該当するのか心配。

### ④ 釜石支部

- ・2 分の 1 補助金に理容椅子を認めて欲しい。
- ・グループ補助金を申請するに当たり、相手方を探して欲しい。
- ・復興支援事業の継続、商工会等との情報格差が出ないように、タイムリーな情報提供。
- ・本設店舗建設の際は、補助金や他市町村の共同店舗等の情報、金融面での有利な情報が欲しい。

### ⑤ 気仙支部

- ・グループ補助金を申請するに当たり、相手探しなど組合に協力を要請。
- ・2 分の 1 補助金に理容椅子を認めて欲しい。
- ・各種補助金制度の継続。各店の事情を考慮した、きめ細やかなフォローをお願いする。

## 8 美容業生活衛生同業組合

### ① 久慈支部

- ・被災組合員は、現地で再開とその他の場所で全員営業再開している。

### ② 岩泉支部

- ・移転場所が確定してから、営業再開を決めたいが、全く見通しが立たない。

### ③ 宮古支部

- ・仮設店舗で新たに顧客ができたが、本設再開にあたり来店してくれるか不安。
- ・仮設入居者が減少し売上減少。本設の際に融資を受けられるか不安。健康面も不安。
- ・高台移転は決まったが、本設までの数年後に営業しても経営が成り立つか不安。

### ④ 山田支部

- ・仮設から仮設に移転。本設再開は平成 28 年以降で、それまでの期間の経営の継続と営業意欲が継続できるか不安な状況。
- ・住民の流出が止まらない、売上は震災前の 4 割程度で、経営が厳しい。
- ・本設の際には、グループ補助金の活用希望。

### ⑤ 釜石支部

- ・復興に時間がかかり過ぎ疲弊。配分の土地に店舗兼住宅が建設できるか不安。
- ・震災前から売上減少はあったが、震災後の売上減少が止まらない。

### ⑥ 大船渡支部

- ・人口減少等、顧客が減り売上減少。
- ・仮設店舗開設時に資金がかかっているため、すぐに自立再開は困難。
- ・本設の際には、グループ補助金の活用希望。

## 9 興行生活衛生同業組合

- ・営業は継続されている。

## 10 旅館ホテル生活衛生同業組合

### ① 久慈支部

- ・後継者不在が課題。

### ② 岩泉支部

- ・後継者不在が課題。宿泊客のほとんどが工事関係者であり、今後が心配。資金確保が厳しい。

### ③ 宮古支部

- ・大手ホテルチェーンの進出で営業稼働率が低下。後継者の不在、経営者の高齢化の不安。
- ・平成5年の北海道奥尻島地震の復興後の大不況等を見据え、今後、国、県の関係者の方々にその対策を十分に配慮下さるようお願いする。

### ④ 釜石支部

- ・全て現地で営業再開している。大手ホテルチェーンの進出で営業稼働率が低下。

### ⑤ 大船渡支部

- ・再建建設中の1店舗が、スムーズに工事が進むよう期待。

### ⑥ 陸前高田支部

- ・市街地の嵩上げ工事の早期完成を期待。

## 11 公衆浴場業生活衛生同業組合

- ・七滝湯（宮古市楯ヶ崎）が営業再開を検討中。建物4千万円、設備（浴場）1千万円。国からの支援があれば土地を担保に多少の自己資金は捻出可能。

## 12 クリーニング生活衛生同業組合

### ① 久慈支部

- ・大手取次店が出店してきて、仕事が減少。

### ② 宮古支部

- ・若者が流出し、顧客が減少、売上が減少。
- ・地域住民がローンを抱え、支出を抑制する傾向が顕著、仕事が減少。

### ③ 釜石支部

- ・仕事減少により後継者が家族で地元を離れ、別の職業に就いた。
- ・仮設住宅では収納場所が無いため、衣類などは最低限しか揃えていない傾向がある。
- ・災害公営住宅への入居等、顧客の把握が難しくなってきた。
- ・かなり汚れが多い衣類が多くなり、手間がかかる品物が増加し経費増。

### ④ 気仙支部

- ・人口流出が激しく、顧客獲得が難しく売上減少。
- ・地元の商店街等で本設再開を希望しているが、嵩上げ工事が継続中で見通しが立たない。
- ・顧客が減少しており、仕事の依頼も減少。

《東日本大震災における被災状況・営業状況調査：（岩手県全域対象・・・平成24年2月1日現在）》

	1 現地で再開 （店舗が元々 あった場所）	2 仮設店舗で再 開（中小企業基 盤整備機構等）	3 その他の 場所で再開 （別の場所）	4 休業中 （営業再開 意思あり）	5 廃業	6 被災後 速やかに 営業継続	7 不明	調査対象 組合員数
すし業	8	1	2	1	0	95	0	107
中華料理	26	6	4	4	13	131	0	184
社交事業	17	0	0	0	3	180	0	200
料理業	8	0	1	2	0	25	0	36
飲食業	58	20	28	16	24	278	41	465
食肉	7	1	1	2	2	59	0	72
理容	69	13	44	43	21	1035	0	1225
美容業	69	16	14	42	20	969	3	1133
興行	14	0	0	0	0	13	0	27
旅館ホテル	61	0	0	21	18	228	0	328
公衆浴場業	2	0	0	1	4	18	0	25
クリーニング	2	0	3	1	7	89	0	102
<b>合計</b>	<b>341</b>	<b>57</b>	<b>97</b>	<b>133</b>	<b>112</b>	<b>3120</b>	<b>44</b>	<b>3904</b>
割合	8.7%	1.5%	2.5%	3.4%	2.9%	79.9%	1.1%	100.0%

※本資料は平成24年2月1日現在で調査し、財団法人全国生活営業指導センターに報告したものです。

《東日本大震災における被災状況・営業状況調査：（沿岸地域対象・・・平成24年12月31日現在）》

	1 現地で再開 （店舗が元々 あった場所）	2 仮設店舗で再 開（中小企業基 盤整備機構等）	3 その他の 場所で再開 （別の場所）	4 休業中 （営業再開 意思あり）	5 廃業	6 被災後 速やかに 営業継続	7 不明	調査対象 組合員数
すし業	8	1	1	1	0	4	0	15
中華料理	20	14	11	2	0	8	0	55
社交事業	0	1	0	0	2	0	0	3
料理業	1	0	2	0	0	0	2	5
飲食業	36	45	34	16	2	46	0	179
食肉	5	1	4	0	2	10	0	22
理容	46	21	40	13	0	147	0	267
美容業	33	25	21	16	37	175	3	310
興行	0	0	0	0	0	1	0	1
旅館ホテル	31	0	0	13	2	34	4	84
公衆浴場業	2	0	0	1	4	3	0	10
クリーニング	1	4	0	0	0	15	0	20
<b>合計</b>	<b>183</b>	<b>112</b>	<b>113</b>	<b>62</b>	<b>49</b>	<b>443</b>	<b>9</b>	<b>971</b>
割合	18.8%	11.5%	11.6%	6.4%	5.0%	45.6%	0.9%	100.0%

※本資料は平成24年12月31日現在で調査し、岩手県に報告したものです。

《東日本大震災における被災状況・営業状況調査：（沿岸地域対象・・・平成 25 年 11 月 30 日現在）》

	1 現地で再開 （店舗が元々 あった場所）	2 仮設店舗で再 開（中小企業基 盤整備機構等）	3 その他の 場所で再開 （別の場所）	4 休業中 （営業再開 意思あり）	5 廃業	6 被災後 速やかに 営業継続	7 不明	調査対象 組合員数
すし業	8	1	1	0	1	4	0	15
中華料理	20	13	14	2	2	8	0	59
社交飲食業	0	16	0	0	0	0	0	16
料理業	0	0	4	0	0	0	3	4
飲食業	19	49	36	4	2	40	0	153
食肉	4	2	2	1	0	12	0	21
理容	42	25	29	9	8	144	0	257
美容業	34	23	19	8	47	176	0	307
興行	0	0	0	0	0	1	0	1
旅館ホテル	25	0	5	8	4	41	0	83
公衆浴場業	0	0	0	1	5	0	0	6
クリーニング	2	3	0	0	3	12	0	20
<b>合計</b>	<b>154</b>	<b>132</b>	<b>110</b>	<b>33</b>	<b>72</b>	<b>438</b>	<b>3</b>	<b>942</b>
割合	16.3%	14.0%	11.7%	3.5%	7.6%	46.5%	0.3%	100.0%

※本資料は平成 25 年 11 月 30 日現在で調査し、岩手県に報告したものです。

今回の調査の参考資料として、掲載しました。



# 東日本大震災における被災状況・営業状況調査票

(公財)岩手県生活衛生営業指導センター

## 【調査票記入のお願い】

- 1 調査票は支部ごとに作成することとし、下線部及び枠内に回答を記入して下さい。
- 2 それぞれの件数は、現在組合・支部として把握している範囲で結構です。不明な場合（把握していない場合）は、「不明」件数にカウントして下さい。〔調査票記入に関するお問い合わせ先〕

(公財)岩手県生活衛生営業指導センター担当：下屋敷・佐々木

TEL：019-624-6642（9：00～16：30）

## 【基本項目：組合名、支部名、組合員数等について】

組合名： \_\_\_\_\_ 生活衛生同業組合  
 支部名： \_\_\_\_\_ 支部（管轄市町村： \_\_\_\_\_）  
 支部組合員数： \_\_\_\_\_ 名（平成26年11月30日時点の組合員数）  
 調査票記入担当者： \_\_\_\_\_（連絡先電話番号： \_\_\_\_\_）

## 1. 被災事業者の現時点の営業状況について

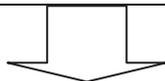
- (1) 貴支部において被災された組合員の方の現時点（平成26年11月30日現在）の店舗の営業状況（復興状況）についてご回答ください。

1	2	3	4	5	6	7
現地（店舗が元々あった場所）で再開	仮設店舗（中小企業整備基盤機構等）で再開	その他（別の場所）で再開	休業中（営業再開の意思あり）	廃業	被災後速やかに営業継続	不明
店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗



- (2) 「2 仮設店舗で再開」の方の、**今後の意向等に○を付してください。** ※複数回答可

1	2	3	4	5	6	7
どうしていいか判らない	本設展開を予定	仮設撤去時は廃業を検討				
店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗



- (3) 「1 本設展開を予定」の方の、**展開予定時期等に○を付してください。** ※複数回答可

1	2	3	4	5	6	7
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	時期未定
店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗

## 2. 現在の課題等について

貴支部の組合員の方が、営業の再開や、営業をしていくうえで支障となっていること等について聞き取りの上記載願います。

ご協力ありがとうございました。

### ※ 4の「休業中」について

「休業中」とは、営業再開(継続)しておらず、廃業を決めていない方を「休業中」として分類して下さい。

(例)営業再開の意思はあるが再開できない方、復興計画の策定待ちで営業再開・廃業のどちらかで迷っている方。







宮古市田老地区 たろちゃんハウス内仮設店舗で営業している理容店 (2014.7.4 撮影)



釜石市鶉住居地区 仮設店舗で営業している理容店

仮設店舗と道路を挟んでいる仮設住宅(2014.7.4 撮影)



道路拡張工事により、再度移転する予定



釜石市平田地区 仮設店舗（2014.7.5 撮影）



仮設店舗付近は、野生の鹿が出没する自然豊かな場所



釜石市 はまゆり飲食店街の状況（2014.9.9 撮影）



陸前高田市米崎町 少し山の手で自前でプレハブ設置。本店舗での本設営業を決意（2014.10.16 撮影）





陸前高田市高田町 中小機構の仮設店舗。入居期限は、2017年3月まで（2014.10.16撮影）



陸前高田市気仙町 中小機構の仮設店舗。入居期限は、2018年7月まで（2014.10.17撮影）

- ・店舗があった旧今泉地区は、平均7.4m嵩上げし2018年度の完了を目指す。



陸前高田市気仙町 空き店舗を借家し営業。2017年をメドに高台に新店舗建設予定（2014.10.17撮影）



宮古市田老地区 先行する高台移転先工事と嵩上げを待つ市街地（2014.7.7 撮影）



大船渡市大船渡地区 嵩上げを待つ市街地（2014.12.1 撮影）



陸前高田市 旧中心街全域 進む嵩上げ工事（2014.10.21 撮影）



釜石市 中心街の状況（2015.1.7 撮影）



災害支援協定  
参加のお店です！



災害情報・水・トイレ  
提供します

岩手県生活衛生営業指導センター  
岩手県生活衛生同業組合中央会  
岩手県生活衛生同業組合



大船渡屋台村で、ステッカー掲示のお店を見つけました！

応急仮設住宅、みなし仮設住宅の被災者の状況(平成26年12月31日現在)

岩手県復興局生活再建課

12月31日 時点		応急仮設住宅		みなし仮設住宅						応急仮設等合計	
				民間賃貸住宅		公営住宅等		みなし仮設計			
		戸数	人数	戸数	人数	戸数	人数	戸数	人数	戸数	人数
①	陸前高田市	1,695	4,178	52	153	55	148	107	301	1,802	4,479
②	大船渡市	1,338	2,965	273	666	80	207	353	873	1,691	3,838
③	釜石市	2,230	4,637	235	585	234	951	469	1,536	2,699	6,173
④	大槌町	1,708	3,545	57	166			57	166	1,765	3,711
⑤	山田町	1,674	3,638	134	385	4	11	138	396	1,812	4,034
⑥	宮古市	1,375	2,770	330	833	44	122	374	955	1,749	3,725
⑦	岩泉町	78	171	13	32	1	2	14	34	92	205
⑧	田野畑村	74	152	5	15	1	2	6	17	80	169
⑨	野田村	116	301	23	77			23	77	139	378
⑩	久慈市	4	8	42	114	3	5	45	119	49	127
⑪	洋野町	1	1	1	5			1	5	2	6
⑫	普代村			1	2			1	2	1	2
1	住田町	55	131	7	21			7	21	62	152
2	遠野市	23	37	17	41	19	48	36	89	59	126
3	盛岡市			260	529	35	65	295	594	295	594
4	花巻市			52	110	32	71	84	181	84	181
5	北上市			60	115	36	77	96	192	96	192
6	二戸市			1	1			1	1	1	1
7	一関市			108	260	59	123	167	383	167	383
8	八幡平市			1	2			1	2	1	2
9	奥州市			42	95	26	50	68	145	68	145
10	雫石町			5	16	1	4	6	20	6	20
11	葛巻町										
12	岩手町										
13	滝沢市			24	58	6	15	30	73	30	73
14	紫波町			14	38	4	14	18	52	18	52
15	矢巾町			20	48	6	15	26	63	26	63
16	西和賀町			1	3			1	3	1	3
17	金ヶ崎町			4	5	1	2	5	7	5	7
18	平泉町										
19	軽米町										
20	九戸村										
21	一戸町										
小計	沿岸計	10,293	22,366	1,166	3,033	422	1,448	1,588	4,481	11,881	26,847
	内陸計	78	168	616	1,342	225	484	841	1,826	919	1,994
県内計		10,371	22,534	1,782	4,375	647	1,932	2,429	6,307	12,800	28,841